

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

岐阜県作業療法士会では、平成26年度より地域リハ推進部内に認知症対策推進委員会を設置し、地方局と協力し各地区への認知症推進委員の配置した。平成27年度からは、①認知症リハビリテーション専門職の人材育成②認知症リハビリテーション専門職の地域派遣体制の構築を中心として活動を進めています。①に対して県士会主催の研修会、②に対して3士会合同事業として、岐阜県介護予防事業推進リーダー研修会を4年続けて行っており、岐阜県作業療法士会においては、認知症予防と関わり方についての研修会を進め、人材育成とリーダー育成、認知症初期集中支援チームへの参画できるように活動を行っている。

## 認知症カフェ運営事業

当士会の研究会において、認知症カフェを開催している。全国的に当事者が集えるカフェが少ないという課題がある中、当カフェは、医療機関の紹介も得ながら、当事者とそのご家族への支援を行える本来の認知症カフェを実施している。

他には、各市町村からの依頼を受ける形で、老年期分野のOTがカフェの単発の企画や、全体のアドバイザーとして、参画しているケースもある。



## 総合事業 通所型サービスへの参画

M市における総合事業の一つである通所型サービスAを会員の所属する法人が委託し、OTが主体となって、認知症予防のための教室を企画運営している。個別のアセスメントに基づき、エビデンスのある取り組みを通じて、生活習慣の改善や社会参加を促している。今後、研修会や見学会を開催することで、他の士会員へも伝達していく予定である。



## 介護予防推進リーダー研修事業

県からの委託事業として、理学療法士会・言語聴覚士会合同で行っている研修会の中で、リハ職向けの認知症との関わり方について講義を行っている。現在、介護福祉分野だけでなく、医療分野で働く他のリハ職種に対しても理解を促している。



## 地域活動支援事業

会員が独自にボランティアとして参画している認知症啓発イベント「RUN伴」に毎年、士会から応援を派遣している。行政と地域包括支援センターが進める「認知症にやさしいまち」づくりの中心にOTが入ることで、職種の有用性を高めて、職域を拡げるきっかけにしたいと考えている。



## 今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修会の継続
- ・ 県からの委託を受けれる体制づくりの強化
- ・ 認知症の人と家族の会との連携強化